

問 50 病原菌に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) は、リポ多糖を含む細胞壁をもっている。
- b 梅毒トレポネーマ (*Treponema pallidum*) は、血液平板培地で培養できる。
- c ネズミチフス菌 (*Salmonella typhimurium*) は、芽胞形成菌である。
- d ヘリコバクターピロリ (*Helicobacter pylori*) は、アンモニアを産生することにより胃酸から自らを守る。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	誤	正	正
4	誤	誤	誤	正
5	正	正	誤	誤

### Approach

病原菌の特徴に関する基本的な問題。(85 49再)

### Explanation

- a × *Mycoplasma pneumoniae* は、非定型肺炎を引き起こす病原菌の一種である。ペプチドグリカンを含む細胞壁をもたないため、ペニシリン系の抗生剤は無効である。
- b × *Treponema pallidum* は、現在人工培地での培養は不可能であり、この菌を培養するためにはウサギの睾丸が用いられている。
- c × サルモネラは、腸内細菌科に属する通性嫌気性のグラム陰性桿菌であり、芽胞を形成しない。
- d 微好気性のらせん菌で、胃・十二指腸潰瘍および胃がんの原因菌である。本細菌はウレアーゼを産生して、胃粘液中の尿素からアンモニアを生成し、胃酸を中和する。

Ans. 4

### Point

微生物、特に細菌に関する問題は毎年出題されているので、基本的事項を幅広く理解しておく必要がある。